

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 6月30日更新

事務事業名		文化会館技術管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	西村直高
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線)	1514
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 6	事業連番 10840	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	文化会館における舞台操作を職員に代わって行う。平成18年に舞台技術の向上と利用者要望への対応及び職員の時間外勤務軽減と適切な振替休日の取得を目的に実施している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	技術管理業者と年間単価契約を行い、毎月翌月以降の予定について事前打合せを行い、依頼をする。
【主な予算費目】	13 委託料
【意見や要望】	会館の規模、一般的な舞台管理の面から通常3名の技術者が必要であるが、現状では市負担の技術者は2人分としているため、利用者が経費節減のために希望する公演内容に見合った技術者数を手配できず、要望に応えられない場合が多々あるとともに、利用者・技術者双方の安全確保や設備機器の保全に支障をきたすこともある。 また、舞台技術業者は年々減少傾向にあり、人員の確保が難しく、利用者の要望どおり派遣できない場合がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	休日及び平日夜間の文化会館の舞台操作を行った。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 文化会館維持管理事業へ統合するため廃止する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 時間	予算の主な増減の理由 他事業との統合に伴う減額
→ア:管理委託時間	時間	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	技術管理委託会社	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
→ア:利用者数		人
→イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	平日の時間外・休日に、舞台技術及び会館の管理業務を職員に代わって行う。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人
→ア:利用して満足した人数		人
→イ:		
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 来館者が利用に関して満足いただけるようにする。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア	時間	844	983	1,200	1,215	0	0	0	0	
②対象指標	ア	人	44,315	40,955	43,000	45,250	0	0	0	0	
③成果指標	ア	人	42,675	40,015	43,000	44,340	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	3,296	3,046	3,370	4,140	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	2	2	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	100	10	400	260	0	0	0	0
(B)人件費計	千円	403	40	1,628	1,035	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,699	3,086	4,998	5,175	0	0	0	0		

事務事業名	文化会館技術管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 来館者に満足していただけるよう努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市負担の技術者数を増やさなければ、利用者の要望に応えられない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 文化会館に管理に関する事なので、「文化会館維持管理事業 (10839)」との統合は可能である
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 技術者1名分の委託料であり、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 常駐委託を行えば事務量は軽減できるものの、委託料が増大する。また、舞台技術については、ある程度の経験を有するため難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 近隣市町村保有施設と比較すると、本市の会館は市負担の技術者数が少ない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 技術者を要するときだけ委託する分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

利用者からの問い合わせや急を要する対応時などで、常駐の技術者がいないため即時対応(回答)ができない場合がある。職員の中で舞台技術専門員なる人材を育成する必要がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						